



H O T E L B E S T L A N D

ご宿泊約款

(適応範囲)

- 第1条 1. HOTEL BESTLAND(以下当ホテルと称す)が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この宿泊約款(以下、約款と称す)の定めるところによるものとし、この契約に定めのない事項については、法令又は一般に擁立された慣習によるものとし、
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

(宿泊契約の申し込み)

- 第2条 1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着時間
 - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立)

- 第3条 1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を越えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする契約)

- 第4条 1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金を求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体又はその関係者、その他反社会的勢力(以下「暴力団等反社会的勢力」という。)であると当ホテルが認める場合
 - (2) 暴力団、暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (3) 法人であって、その役員のうち暴力団等に該当するものがあるとき
 - (4) 暴力団等の勢力誇示、又はそれらを援助・助長する行為を行なったとき
 - (5) 当ホテルもしくはスタッフに対し、暴力、脅迫、恐喝等の威圧的な不当要求を行なったとき、又はかつて同様な行為を行なったと認められるとき、もしくはそれらの恐れのあるとき

- (6) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (7) 満室により、客室の余裕がないとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められたとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (10) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (11) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (12) 茨城県旅館業施設の衛生措置の基準等に関する条例第11条の規定する場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条
- 1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
 - 2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテル(館)が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテル(館)が宿泊客に告知したときに限ります。
 - 3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条
- 1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 暴力団当反社会的勢力
 - (2) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その団体
 - (3) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者のあるもの
 - (4) 他の宿泊者に著しい迷惑行為を及ぼす言動をした場合
 - (5) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (6) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (7) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (8) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (9) 茨城県旅館業施設の衛生措置の基準等に関する条例第11条の規定する場合に該当するとき。
 - (10) 当ホテルが認める場所以外での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規定の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
 - 2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

- 第8条 1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び入国年月日
 - (2) 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日。
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項。
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

(客室の使用時間)

- 第9条 1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着時及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過4時間までは、室料金の30%
 - (2) 超過7時間までは、室料金の50%
 - (3) 超過7時間以上は、室料金の全額

(利用規則の遵守)

- 第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めた利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

- 第11条 1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。
- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間・・・24時間
 - (2) 飲食など(施設)サービス時間・・・施設内の掲示及びサービスディレクトリーをご参照下さい。
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

- 第12条 1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

- 第13条 1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、消防機関から防火セーフティマークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

- 第14条 1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき理由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

- 第15条 1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の障害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の障害が生じたときは、当ホテルはその損害を補償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告がなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失があった場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

- 第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

- 第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の算定方法(第2条第1項及び第12条第1項関係)

宿泊者が支払うべき総額	内 訳	
	宿泊料金	1.基本宿泊料金(室料)
	追加料金	2.その他の利用料金
	税 金	消費税

備考

1. 基本宿泊料は、フロント及び客室内に掲示する料金表によります。
2. 税法が改正された場合はその改訂された規定によります。

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日 契約申込部屋数	不泊	当日	前日	5日前	9日前	20日前
9室以下	100%	80%	20%	－	－	－
10～19室	100%	80%	50%	－	－	－
20室以上	100%	80%	50%	50%	20%	10%

(注)

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 10室以上の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる室数については、違約金を頂きません。
4. キャンセル料は「宿泊料金」「税及びその他チャージ料」を合算した「ご宿泊料金合計」額をもとに算出いたします。

ご利用規則

HOTEL BESTLANDでは、お客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第10条(利用規則遵守)に基づき、次のように利用規則を定めておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。お守りいただけない場合は宿泊約款第七条によりやむを得ず宿泊または当ホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ、宿泊約款第十八条等により責任をお取りいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

お部屋にご到着されたら、必ず非常口の場所をご確認くださいませ。

＜火災予防、保安上お守りいただきたい事項＞

- (1) 避難経路図は客室ドア内側に表示いたしておりますのでご確認ください。
- (2) 客室内への暖房用、炊事用などの火器およびアイロン等を持ち込み、ご使用なさないでください。
- (3) 当ホテルが指定した場所以外での喫煙はなさないでください。
- (4) その他、火災の原因になるような行為をなさないでください。
- (5) ご滞在中、お部屋から出られるときは、ドアの施錠をご確認ください。
- (6) ご滞在中、特に就寝時はドアの施錠をご確認ください。ご来客があったときは不用意に開扉なさらずにご確認ください。
- (7) ご訪問客とのご面会はロビーにてお願いいたします。
- (8) ご宿泊登録者以外のご宿泊は固くお断りいたします。

＜貴重品、お預かり品、遺失物のお取り扱いについて＞

- (1) ご滞在中の現金その他貴重品の保管はフロントへお預けください。上記手続きをお取りにならずに生じた現金・貴重品の事故に関しましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (2) 当ホテル内での遺失物は、一定期間当ホテルが保管しその後は法令に基づいて随時処理させていただきます。
- (3) お預かり物のお取り扱いに関しましては、所定の期間を経過しても連絡がない場合、お取引の意志がないものとして処理させていただきます。

＜おやめいただきたい行為＞

- (1) 当ホテル内に他のお客様のご迷惑になるようなもの、例えば悪臭を発するもの、発火または引火性のもの、法令で所持を禁止されているもの等をお持ちにならないでください。
- (2) 当ホテル内で賭博や風紀・治安を乱すような行為、他のお客様のご迷惑になるような言動・嫌悪感を与えるような行為はおやめください。
- (3) 当ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外にご使用にならないでください。施設、備品の現状を変更してご利用にならないでください。
- (4) 当ホテルの許可なく、客室を営業などの宿泊以外の目的でご使用にならないでください。
- (5) 当ホテルの外観を損なうようなものを窓側に陳列なさないでください。
- (6) 当ホテル内で許可なく広告、宣伝物を配布したり物品の販売をしないでください。
- (7) 当ホテル外に飲食物をご注文することはお断りいたします。
- (8) 未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可のない限りお断りさせていただきます。
- (9) 館内ウェア・バスローブ・スリッパでのレストランのご利用はお控えください。
- (10) 窓から物をお投げになることはなさないでください。
- (11) 不可抗力以外の事由により建造物、備品、その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失させた場合は、相当額を弁償させていただきます。

<安全の手引き>

[火災を発見したら]

1. 火災を発見されたらすぐフロントまでご連絡ください。
2. 大声や音をたてて周囲の人にお知らせください。
3. 煙や臭いなど火災と思われる場合は、些細なことでもフロントまでご連絡ください。

[火災警報ベルが鳴ったら]

1. 非常放送や係員が火災状況をアナウンスし、避難誘導を行ないますので、火元から離れ係員の指示に従い冷静に速やかに行動してください。
2. エレベータは絶対に利用しないでください。
3. 煙を吸い込まないように、口と鼻を濡れタオルで防護してください。
4. 姿勢を低くし、壁にそって煙の反対方向の非常階段から避難してください。

[部屋から外に出る場合]

1. 火や煙の拡がりを防ぐため、必ずドアを閉めて出てください。
2. 残留者やケガ人にお気づきの際は、至急フロントまでお知らせください。

[地震発生時]

1. 地震発生時、客室内の場合はドア・窓を開けて避難導線を確認し、できるだけ窓から離れた場所で頭上部を保護してください。避難が必要な際には緊急避難放送を流しますので、係員の指示に従い速やかに避難してください。
2. エレベータは絶対に利用しないでください。

<大浴場の利用規則>

1. 次の各号に該当する方のご入場はご容赦ください。
 - (1) 暴力団等
 - (2) 入れ墨・タトゥーのある方
 - (3) 感染症の疑いがある方、又は医師から入浴を禁止されている方
 - (4) 生理中の方、体調の悪い方、飲酒された方
 - (5) 本約款等及びその他利用規約等に違反した方
2. 県の条例により、7歳以上の男女の混浴はできません。
3. ご利用に関わる事故、お荷物の紛失や盗難、及びお客様間のトラブル等につきましては、当ホテルでは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 快適かつ安全にご利用いただけるよう、下記のマナーをお守りください。
 - (1) 更衣室・浴室でのカメラやスマートフォンのご使用はおやめください。
 - (2) 浴室内への飲食物の持ち込みはおやめください。
 - (3) 用便は必ずトイレにてお願い致します。浴室内では用を足さないでください。
 - (4) 洗い場の場所取り、及び他のお客様へのご迷惑をなるべく避けるような各施設の長時間のご利用はご遠慮ください。
 - (5) 当施設内では、走ったり、騒音をだしたりしないでください。
 - (6) その他、当ホテルが大浴場内等に掲げるマナーを必ずお守りください。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMODATION CONTRACTS

(Scope of Application)

Article 1.

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions.

And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2.

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars.

- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No. 1.)
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid.

However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4.

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a Special contract requiring no Accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be construed as that the Hotel has accepted a special contract prescribed the preceding Paragraph.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5.

1. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases;
 - (1) When the Guest seeking accommodation is in a gang, a gang member, or is part of or related to an organization associated with gangs;
 - (2) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 - (3) When a corporate body has related persons to gang members.
 - (4) When demonstrating the power of organized crime groups, or acting to assist or encourage them.
 - (5) When the Hotel and/or hotel staff are violently threatened or unreasonably burdened by the Guest;
 - (6) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (7) When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (8) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his Accommodation;
 - (9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (10) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his Accommodation;
 - (11) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunctions of the facilities and/or other unavoidable causes;
 - (12) When the provisions of Article No.11 of IBARAGI Prefectural Ordinance are applicable.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6.

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract by whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No 2.

However, in the case when special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. In the Case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the Accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 7.

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases;
 - (1) When the Guest seeking accommodation is in a gang, a gang member, or is part of or related to an organization associated with gangs;
 - (2) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 - (3) When a corporate body has related persons to gang members.
 - (4) When it is clearly recognized that the person who intends to stay may cause serious inconvenience to other guests due to drunkenness or the like. Or when the guests made annoying behavior which significantly disturbs other guests;
 - (5) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
 - (6) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (7) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his Accommodation;
 - (8) When the Hotel is unable to provide Accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (9) When the provisions of Article No. 11 of IBARAGI Prefectural Ordinance are applicable;

- (10) When the Guest does not observe prohibited actions such as Smoking outside designated smoking areas, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel
(restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Registration)

Article 8.

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of Accommodation;
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(S);
 - (2) For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Data and estimated time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9.

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2 p.m. to 11 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra Charges shall be paid as follows;
 - (1) Up to 4 hours: 30% of the equivalent in the sum to the accommodation charge per one person.
 - (2) Up to 7 hours: 50% of the equivalent in the sum to the accommodation charge per one person.
 - (3) More than 7 hours: room charge in full

(Observance of Use Regulations)

Article 10.

1. The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11.

1. The business hours of the main facilities, etc, of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc, shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.
 - (1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.24 hours
 - (2) Service hours for dining, drinking and etc. Please refer to the service directory.
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12.

1. The breakdown of the Accommodation Charges, etc, that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1
2. Accommodation Charges, etc, as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the arrival of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the Accommodation facilities which have been provided for him by the Hotel and are at his disposal.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13.

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in case when Such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable or Even though the Hotel has received the [FIRE PREVENTION SAFETY MARK] (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when unable to provide Contracted Rooms)

Article 14.

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted room, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other Accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide Accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15.

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods. Cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the Case When this has been due to causes of force majeure

However for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and Value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 150,000yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Ryoka.m.motel, to the goods. cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest except in case of the damage caused through intention or gross negligence on the part of the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 150,000yen.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16.

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found. and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability In regard to Parking)

Article 17.

1. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot with the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18.

1. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No. 1

Calculation method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2. and Paragraph 1 Article 12)

Total Amount to be paid by the Guest	Contents	
	Accommodation Charge	Basic Accommodation Charge (Room Charge)
	Extra Charge	Other
	Taxes	Consumption Tax

Attached Table No.2

Cancellation Charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date when cancellation of contract is Notified Contracted number of guests	No show	Accommodation on day	1 day prior to accommodation	5 days prior to accommodation	9 days prior to accommodation	20 days prior to accommodation
9 rooms or less	100%	80%	20%	—	—	—
10 to 19 rooms	100%	80%	50%	—	—	—
20 rooms or more	100%	80%	50%	50%	20%	10%

Remarks:

- 1.% is the ratio of the penalty to the basic accommodation fee.
- 2.If the number of contract days is shortened, a penalty for one day (the first day) will be charged regardless of the number of days shortened.
- 3.In the event that a contract for 10 or more rooms is partially terminated, no penalty will be charged for the number of rooms that is 10% (rounded up to the nearest whole number) of the number of guests staying 10 days prior to the stay (or the day of acceptance if the application is accepted after that day).
4. Cancellation fees will be calculated based on the "total accommodation fee", which is the sum of the "accommodation fee" and "tax and other charges".

House Regulations

Under Article 10 of the “Terms & Conditions for Accommodation Contracts, ” HOTEL BESTLAND” has established House Regulations, which all guests are required to observe in order to ensure the safety and comfort of hotel guests. In the case of a guest failing to comply with these regulations, the hotel reserves the right to discontinue the accommodation contract and to refuse use of the hotel facilities.

Upon settling in your room

Please look at the emergency exit map in the room directory and confirm their locations by walking there.

<Fire Precautions and Security Measures>

- 1.Be sure to check the emergency evacuation route indicated in the Room Directory.
- 2.No heat source may be used in guest rooms for heating, cooking or ironing.
- 3.Please refrain from smoking outside of designated areas.
- 4.Any other act that may cause a fire is also prohibited.
- 5.Be sure to lock the door when leaving your room.
- 6.Be sure to lock the door when going to bed. Do not open the door before identifying a visitor.
- 7.Visitors are not permitted in guest rooms.
- 8.Guests who are not registered are not allowed to stay at the hotel.

<Valuables and Checked Articles>

- 1.Money and valuables must be deposited at the Reception desk(s) for safekeeping.. The management is not responsible for loss of or damage to the items left in the guest’s room, including cash and other items of value.
- 2.Left over articles will be disposed of after a reasonable period of time in accordance with the government Regulations/Provisions for articles in custody.
- 3.Deposited articles will be maintained in the custody of the hotel for a reasonable period of time; however, they will be disposed of unless contacted by the holder during such period of custody, assuming that the holder has renounced the right for retrieval.

<The Following Acts are Prohibited.>

- 1.To bring into the hotel premises items that may be of nuisance to hotel guests, such as objects with an objectionable smell, inflammable or explosive objects, or any other objects legally prohibited.
- 2.To gamble, to behave in a manner contrary to public morals or public order, or to annoy other hotel guests.
- 3.To rearrange or move furniture and fixtures from their set position, or use them in a manner other than that designed for.

- 4.To use rooms for commercial activities or purposes, other than accommodation, without the prior approval of the hotel.
- 5.To display articles near the window in a way that may affect the appearance of the hotel.
- 6.To distribute advertising materials or sell goods in the premises of the hotel without prior approval.
- 7.Meals or drinks may not be brought in from establishments outside the hotel.
- 8.Minors are not permitted to stay at the hotel without parental or consent of their guardian.
- 9.Nightgowns, in-house wear, and in-house sandals at Lobby.
- 10.To throw any objects from windows of your guest room.
- 11.The management reserves the right to hold guests responsible for damages, contamination or loss caused to any part of the building, its furniture or fixtures.

<For your safety>

[Fire]

- 1.Keep clam, and report to the front desk.
- 2.Call out loudly or make a loud noise to warn other people.
- 3.When you see or smell smoke, please notify the front desk immediately.

[Fire alarm]

- 1.Emergency exit procedures shall be broadcast in case of fire. In the event there is no broadcast or it is impossible to understand the message, please consult the instructions in emergency escape map.
- 2.Do not use the elevator.
- 3.Cover your mouth and nose with a wet towel to protect yourself form inhaling smoke.
- 4.In escaping through smoke, bend over and walk along the wall. Use the emergency exit farthest from the smoke.

[Exiting your room in case of fire]

- 1.In the event of fire, close the door behind you when you escape to prevent the fire from spreading.
- 2.Extinguish cigarettes.
- 3.If you should notice people remaining behind or injured, please notify to front desk.

[When earthquakes occur]

- 1.Stay calm and follow broadcasts through PA system or instructions from hotel personnel. when you go out and take refuge, protect your head by pulling a towel over your head.
- 2.Do not use the elevator.

〈Public bathing Etiquette〉

1. Any person who falls under any of the following is requested to refrain from entering the public bath;
 - (1) Persons with tattoos.
 - (2) Persons with possibility of having contagious disease, or any person who is prohibited by a doctor from taking a bath.
 - (3) Any person who is menstruating or feeling ill or has drunk.
 - (4) Any person who has breached this contract, etc. or any other terms and conditions of use, etc.
2. According to prefectural regulations, mixed bathing is not allowed over 7 years old.
3. All guests shall use the public bath at their own risk and Hotel will not be responsible for any injuries, stolen or loss of personal belongings, and/or conflicts between guests.
4. For comfortable and safe use of the public bath of our hotel, please observe the following manners.
 - (1) Do not use camera, cell phone in the changing room or the bathing area.
 - (2) Please do not bring any food or drink into the bathroom.
 - (3) Please always relieve yourself in a toilet and not in or around the bath.
 - (4) Please refrain from holding a washing space for someone or from using any facility for such a long time as would cause nuisance to other guests, please be considerate to each other in using facilities during peak hours.
 - (5) Please do not run or make noises in the facilities.
 - (6) Please observe the other manners posted by the hotel in the public baths, etc.